

## F4EJ 改（与作：439号機）美保基地で新たなスタート

航空自衛隊美保基地の南展示場で2022年1月7日(金)、F-4EJ 改展示開始記念式典があり、美保つばさ会の外園副会長が祝辞を述べました。

今回展示が開始されたのは、2020年9月8日(火)に百里基地から美保基地へラストフライトで飛行して来た「439」号機です。(支部ニュースで既掲載)

美保基地に到着以降、整備作業が進められていたそうです。百里基地を飛び立つ前、整備後の機体に美保基地へのメッセージとして「与作(439)の魂をよろしくお願いします」と記され、その書き込みがそのまま残され展示されています。

展示開始記念式典は、境港市長、米子市長、鳥取県地域づくり推進部長をはじめ、周辺連合自治会長及び協力団体の来賓をむかえて挙行されました。先ず、與儀美保基地司令が「航空自衛隊の航空活動への理解を深め、美保基地と地域の親交を深めるアイテムとして期待している」とあいさつ。続いて伊木米子市長、外園美保つばさ会副会長の祝辞の後、出席者はテープカットし、機体を間近で見学しました。



祝辞を述べる美保つばさ会副会長



展示場所は、飛行場南側の大篠津町に設けられ、道路からフェンス越しに見ることができます。この展示場ではYS-11「158」号機、C-1「003」号機も展示されており、今回F-4EJ 改が加わったことにより、より航空自衛隊と美保基地の活動の理解を深めてもらう機会となれば良いと思います。

写真は、周辺航空ファンの方に御提供頂きました。



Shiga 撮影